

「奄美群島成長戦略プロジェクト推進会議」について

1. 主旨

奄美群島は、世界自然遺産登録という千載一遇の好機を迎えようとしており、群島内外の人々からの注目が集まる中、地域振興等に向けた活動の機運が高まっている。これを一過性のものとしないうためには、豊かな自然環境や独自の伝統文化等の地域資源を生かした奄美らしい魅力を体感できる観光スタイルを構築するとともに、Uターンを含む次世代の定住促進に資する雇用機会を着実に創出していく必要がある。

このため、国と地元自治体が連携して、群島内外からの支援と参画を広げ、世界自然遺産登録を見据えた奄美群島全体としての受入環境整備と「奄美ブランド」の戦略的情報発信をより一層推進するとともに、民間と連携した成長戦略の実現や持続的な地域づくりに向けた案件形成をハンズオンで支援することを目的に、「成長戦略プロジェクト推進会議」(以下「推進会議」という。)を設置する。

なお、推進会議においては、「奄美群島成長戦略ビジョン後期基本計画」や「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島世界自然遺産推薦地包括的管理計画」、「奄美群島エコツーリズム推進全体構想」等による既往の取組を踏まえて検討を行うものとし、多様な主体の連携を通じてその効果の増進を図る観点から、関係機関の役割分担、取組内容及び実施時期をロードマップとして取りまとめる。その際、地域活性化効果の群島全体への波及や沖縄をゲートウェイとして奄美へ観光客を呼び込むといった視点にも留意する。

2. 推進会議の構成

(1) 委員候補

① 推進会議

- ・海津 ゆりえ(文教大学 国際観光学科教授)
- ・勝 眞一郎(サイバー大学IT 総合学部教授、奄美市産業創出プロデューサー)
- ・曾根 進(株式会社JTB 法人事業本部地域交流事業チームマネージャー)
- ・服部 正策(国立大学法人東京大学 医科学研究所 特任研究員)
- ・原口 泉(志學館大学 人間関係学部教授)
- ・本田 勝規(奄美群島振興開発基金理事長)

② ワーキンググループ(WG)

ロードマップ策定に当たっては、①キャッシュレス対応や施設整備による受入体制の構築、②エコツーリズム推進等の自然保護と観光の両立、③奄美群島の魅力を広く伝えていくための戦略的な情報発信の3分野について、これまでの関係機関の取組状況を踏まえつつ、学識経験者により構成されるWGや既存の枠組みを活用して検討を行う。

(2)事務局

(国) 国土交通省国土政策局

(自治体) 鹿児島県企画部、鹿児島県大島支庁、奄美群島広域事務組合

3. 会議の役割

(1)世界自然遺産登録に向けた動きを契機とした持続的な地域づくりのロードマップ策定

世界自然遺産登録に向けた動きを契機として、観光入込客数の増加を一過性のものとすることなく、持続的な地域づくりにつなげていくため、国と地元自治体等が一同に会し、学識経験者等の助言を受けながら、官民の関係主体の役割分担とそれぞれの主体が実施する事項と時期を群島全体で整理したロードマップを策定する。

各分野におけるロードマップについては、以下のWGにて検討を進めるものとし、推進会議においては分野毎に実施する事項・時期について調整・協議する。

なお、②自然保護と観光の両立については、受入体制の整備及び戦略的な情報発信に関する検討との整合を図る観点から、奄美群島広域事務組合が中心となって、エコツーリズムの推進やオーバーツーリズムの防止、外来生物対策、希少種対策等の推進に関する関係機関の取組状況を確認・整理し、受入体制整備の観点から補完的な取組の必要性等について検討することとし、その実施体制については、WGの設置に代えて既存の枠組みを活用することも含め、奄美群島広域事務組合において今後検討する。

①受入体制の構築

- キャッシュレス化対応
- 宿泊施設(地域資源を生かした民泊の取組を含む)、二次交通、トイレ、駐車場の整備
- 主要施設における多言語化対応
- 地場産業等との連携による魅力的な観光コンテンツの開発 等

②自然保護と観光の両立

- エコツーリズムの推進(エコツアーガイド育成、トレイルマップ作成、DMOとの連携等)
- 世界自然遺産センター等と連携した周辺環境整備
- オーバーツーリズムの防止
- 外来生物対策、希少種対策等の推進 等

③戦略的な情報発信

- 来訪者流動シナリオを踏まえた国内・国外市場のターゲット設定
- 「奄美ブランド」として発信すべき観光コンテンツの形成
- SNSやメディアの活用等、ターゲットに応じた訴求力の高い情報発信手法の選定
- 群島各島間の広域連携、沖縄・屋久島との連携を促進するための効果的な誘客プロモーション 等

(2) 奄美群島振興交付金の「特定重点配分対象事業」への支援

推進会議においては、雇用拡充・人材育成・交流人口拡大を図る取組のうち、民間と連携した新しい取組を支援するために平成31年度予算に盛り込まれた「特定重点配分対象事業」に関し、地元自治体の創意工夫による各種プロジェクトを踏まえつつ、民間連携による先駆性や群島内での横展開等の観点から、より一層効果的な案件形成に資するよう助言を行う。

なお、上記案件形成への支援に当たっては、世界自然遺産登録を見据えた取組が喫緊の課題であることに鑑み、推進会議においては主として受入環境整備・戦略的情報発信に資する取組のブラッシュアップを図る。

4. その他

(1) 推進会議の公開

会議は、原則として、資料、議事概要ともに公開とする。会議での報告者が希望した等の場合は、委員合意の上、一部非公開とすることとする。

(2) 推進会議の見直し

「奄美・沖縄」世界自然遺産は、早ければ2020年にも登録される見込みであることに鑑み、本会議の設置は2020年度末までとし、その後の会議のあり方については2020年度中に検討することとする。

(3) 「奄美群島成長戦略懇話会」との関係

「奄美群島成長戦略懇話会」は、中長期の計画である奄美群島成長戦略ビジョン(10年間)及び基本計画・実施計画(5年間)の策定と成果検証について議論し、奄美群島市町村長会へ提言することとされている。

推進会議は、「奄美群島成長戦略懇話会」とは別途、学識経験者等による助言機関として設置する会議であり、「奄美群島成長戦略懇話会」での検討と調和を図りながら、世界自然遺産登録を見据えたロードマップの策定や、奄美群島振興交付金の「特定重点配分対象事業」の候補となる取組に対して助言を行うものである。